

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

9879

四季の郷公園整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	4	農業と環境の共生

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農林緑花費		
	目	四季の郷公園事業費		
	大事業	四季の郷公園事業		
	中事業	四季の郷公園整備事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 農林水産課 清瀧 篤樹 435-1049
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
事業目的	四季の郷公園のリニューアルを実施し、農業体験を中心とした観光型農業公園へと整備して集客を増やすとともに、山東地区の活性化をめざす。		四季の郷公園リニューアル第一弾として、公園エントランス部分に地域食材レストラン、農産物直売所、BBQエリア等を整備し、さらに24時間駐車場および24時間トイレを設置した。令和2年3月には国土交通省に和歌山市初の「道の駅」として登録され、同年7月には「FOOD HUNTER PARK」として開業を開始した。今後、園路や遊具等の改修を行いランドオープンをめざしていく。		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	四季の郷公園の測量をし、都市公園として、都市計画決定をした。 また、民間活力を活用するためのサウンディング型市場調査を行った。	公園整備や駐車場整備などリニューアルにかかる詳細設計を行った。 公園エントランスの味覚ゾーンの事業者選定を行った。	公園施設や収益施設(レストラン・直売所)の整備工事を行う。 エントランスを整備し、道の駅としての登録を行う。	道の駅として運用を開始するとともに、その他公園施設の整備を行う。 新たな公園運営事業者選定のための市場調査等を実施する。	園路や遊具等の改修を行う。 新たな公園運営事業者選定を実施する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	0	0	46,639	51,619	511,853	236,659	4,927	0	0	0	
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	997.5%	358.5%	△99%	△100%	△100%	0%	
人件費	正規職員	0	0	13,587	16,189	16,833	15,867	0	0	0	
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	13,587	16,189	16,833	15,867	0	0	0	
国庫支出金	0	0	25,367	23,264	226,898	97,784	2,198	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	19,100	21,400	283,900	110,300	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	0	0	2,172	6,955	1,055	28,575	2,729	0	0	0	
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	0.00	1.70	2.01	2.09	1.97	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	整備工事請負費175,656千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
民間活力導入件数		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	0		
			達成度(%)	100%	100%	0%	%	%
民間活力導入件数		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	0		
			達成度(%)	100%	100%	0%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	四季の郷公園のリニューアルを行うことで、観光客や雇用機会の増加をもたらし、新たな地域資源として地域の魅力向上に寄与すると予想される。また、官民一体となり今後の運営を行うことで、時代のニーズに合った公園として維持され、山東地区の活性化にも繋がると考えられる。
見直し・改善内容	リニューアルにかかる基本計画は策定済みだが、基本設計が未実施であるため、全体のコンセプトにずれが生じる可能性がある。今後は公園全体の意匠やサインなど全体のコンセプトに統一感を出すため、各整備の整合性を図る必要がある。